

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



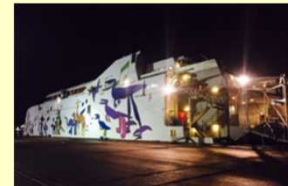
統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 神奈川県における訓練について

本演習において神奈川県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地等警備訓練)
防衛大学校、海自横須賀基地、横浜ノースドック、米海軍横須賀基地
- ② 航空作戦(高射部隊の機動展開訓練)
横浜ノースドック、厚木航空基地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

神奈川県内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(協同基地等警備訓練)

陸上自衛隊及び海上自衛隊の部隊が自衛隊基地・米軍基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練(施設防護及び対空掩護)を実施します。なお、実弾は使用しません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊(1師団)、海上自衛隊(横須賀警備隊)

訓練予定場所



人数等

場 所	主に展開する部隊	
防衛大学校	第1通信大隊	約10名
海自横須賀基地	第31普通科連隊 海自横須賀警備隊	50～70名
横浜ノースドック	第31普通科連隊 第1高射特科大隊	80～100名
米海軍横須賀基地	第31普通科連隊	約80名

訓練イメージ



神奈川県内で実施を検討している訓練内容

②航空作戦(高射部隊の機動展開訓練)

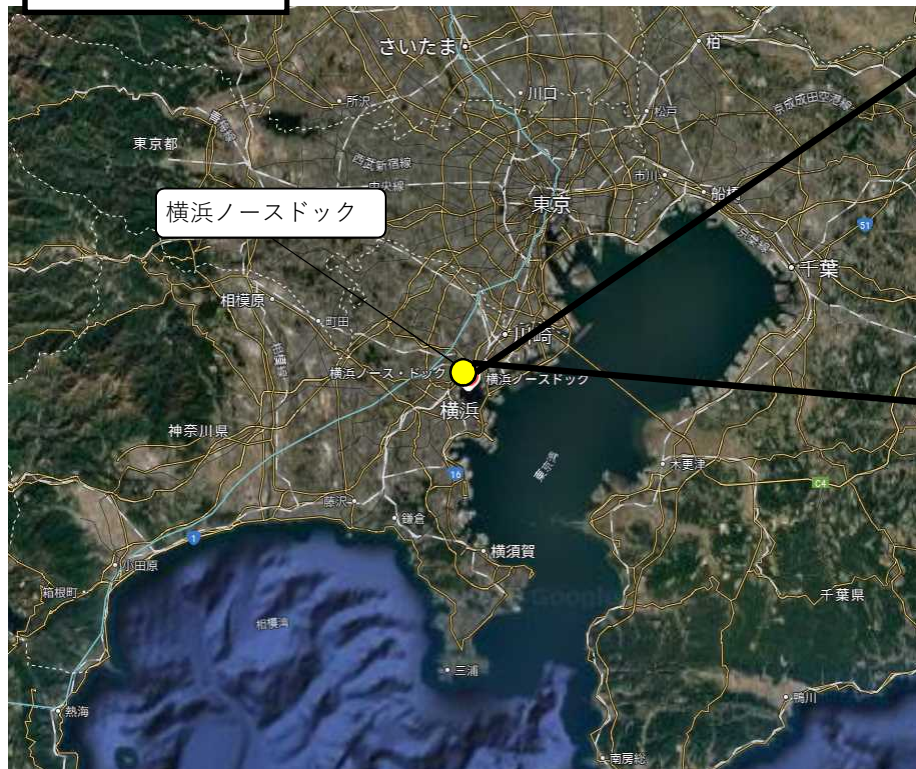
航空自衛隊の高射部隊が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、横浜ノースドックにおいて機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和7年10月17日(金)～10月31日(金)のうち、8日間程度

【参加部隊】中部高射群

人員約40名、車両約15台(PAC-3を含む。)

訓練予定場所



空自：高射部隊

神奈川県内で実施を検討している訓練内容

②航空作戦(高射部隊の機動展開訓練)

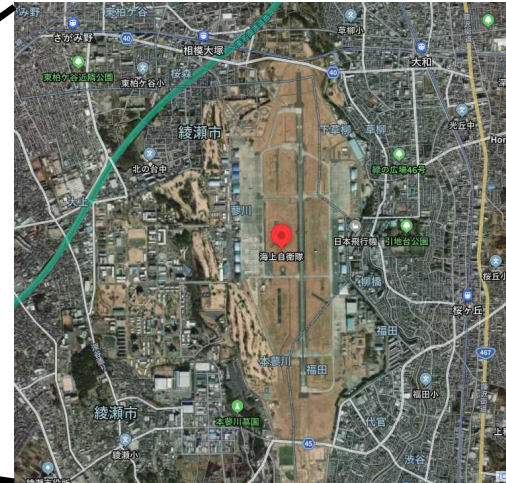
航空自衛隊の高射部隊が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、海上自衛隊厚木航空基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金)のうち、8日間程度

【参加部隊】中部高射群

人員約30名、車両約8台(PAC-3を含む。)

訓練予定場所



空白：高射部隊